

三人兄弟さんにんきょうだい

菊池きくち
寛かん

まだ天子様の都が、京都にあった頃で、今から千年も昔のお話です。はなし

都から二十里ばかり北に離れた丹波の国のある村に、三人の兄弟がありました。一番上の兄を一郎次と言いました。真中を二郎次と言いました。末の弟を三郎次と言いました。

●書ける字はなぞりましょう。声に出して読みましょう。